



国際ロータリー 第2570地区 2020~2021年度 本庄ロータリークラブ週報

会長の時間



2月は、平和と紛争予防・紛争解決月間です

被爆学生の証言

…死の谷間から{原爆症からの生還}…

1945年(昭和20年)8月9日、長崎市の爆心地より700mの近距離で、私は被爆しました。

長崎医科大学に通う19歳の医学生でした。その日のその時、私は大学付属病院の南講堂にいました。講堂の建物は、鉄筋コンクリート構造でしたが、内部は木造の大きい階段教室でした。当日出席していた同期は、約130人で、そのうち生存者は、本人を含めて何と4人でした。あの日、同じように死ぬべき運命にあった自分は、52年間も生き続け、今何を話すべきかそれを二つに絞りたいと思います。

1つは、この世にあってはならない凄惨な原爆地獄の光景と、その体験です。しかしあの恐ろしい真実を、言葉や文章で表現することは不可能です。長崎の上空500mで原爆が爆発した火の玉の中心温度は推定で300,000万度、爆心地より500mで5,000度といわれています。あの火の玉のほぼ真下の状況が一体何度だったのか、想像していただくより他はないと思います。

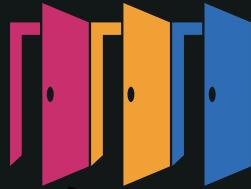
2つ目は、その約1か月後に自分を襲った恐ろしい放射線障害、医学的にも実証されている原爆の恐怖です。自分が紙一重の差で生きたのは、神の恵みとしか言いようのない幸運と母の愛情のおかげでした。

運命の一日の始まり

その運命の日の午前10時、南講堂で「外科総論」の講義が終わりました。自分は25人ほどの友達と病院内に残り、他の同級生たちは全て基礎医学教室の方に移動しました。運命を分けた選択でした。病院内に残った中から4人の生存者があったからです。午後11時近く、自分は病院実習から南講堂に戻りました。白衣を学生服に着替え、鉄カブトを抱き、ノート

Rotary Opens Opportunities

ロータリーは機会の扉を開く



2021年
2月18日(木)
第2例会

第2766回

No.58-24

2020-2021 2月

クラブテーマ “出逢いを大切に、逢えて良かった”

会長 坂本 雄一	副会長 佐藤 賀則
会長エレクト 金井 福則	坂田 清茂
幹事 鈴木 純	巴 高志

2020-2021年度 国際ロータリー会長

2020-2021年度 第2570地区 ガバナー

ホルガー・クナーク

相原 茂吉

Peace and Conflict Prevention • Conflict Resolution Month

2月は平和と紛争予防・紛争解決月間

を入れた鞄を持って1階の最後部に近い椅子に座っていました。講堂内にはそのような学生が十数人いたと思います。ちょうどその時、航空機らしい爆音が聞こえてきました。誰かが「B29の様だな」とつぶやきました。講堂の西側にいた友達が窓を開け上空を見て「おや? 落下傘だ」と言いました。その一瞬で「広島に投下された新型爆弾だと直感しました。自分は夢中で鉄カブトをかぶって、階段教室を教壇の方に矢のように走って下かりました。途中「シャー」というような鋭い音を聞き、教団の下の板張りの床に身を伏せた。原子爆弾の事を「ピカドン」といいますが、後でいくら考えてもピカット光ったことも、爆風の衝撃も思い出せない。ただ、目と耳を押さえて伏せようとした事だけは、記憶に有ります。ものすごいショックによる一時的な記憶喪失だと思います。

文献によると、長崎に投下された原子爆弾の種類はプルトニウム爆弾で、通称ファットマン。50年の長崎市の発表から、45年12月時点で死者は約7万4,000人、重軽傷者は約7万5,000人。その威力は爆心地より700mの地点で瞬間最大風速は約200m、瞬間熱線エネルギーは約2,000度に達したと推定され、発生したガンマ線および中性子による放射線障害は、大多数の近距離被爆者の死因につながったと記されています。

恐らく、強烈な爆風で講堂の木材部分は空中に浮き上がり、吹き飛ばされ、ちぎれた木片と粉砂された無数のガラスの破片が宙を飛んでいたに違いありません。意識が戻った時真っ暗闇の世界でした。「見えない、何も見えない、目がやられたんだ」と思いました。その時、突然に周囲が赤く見えました。それがたちまちのうちに濃いオレンジ色に変わり、魔法のように普通の色の世界に戻りました。これは原子爆弾のすさまじい閃光による一時的な「原爆性黒内障」だそうです。

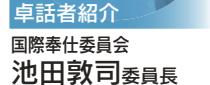
卓話「国際奉仕活動報告」



国際ロータリー2570地区
国際奉仕委員会委員長
田島博夫様
(行田さくらRC)



卓話者紹介
国際奉仕委員会
池田敦司委員長



謝辞
国際奉仕委員会
坂田清茂担当副会長



マルチプル・ ポールハリスフェロー表彰



中島高夫会員



塚越 茂会員

梅村孝雄会員



鈴木 純 幹事

幹事報告

ガバナー月信 2月号届いてます。
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
より、感謝状届いてます。



本日のゲスト

行田さくらRCからお越しいただきました



国際奉仕委員長
田島博夫 様



国際奉仕委員
長島 豊 様

～定番～Message

* 本日は、地区国際奉仕委員会 田島博夫委員長
ようこそ本庄ロータリークラブへお越し下さいました。

～フリー～Message

- * 過日、交通栄誉賞、縁(りよく)十字銀賞を受賞しました。 浅香 匠
- * 国際奉仕委員会 委員長 田島博夫様
今日は卓話よろしくお願い致します。 高柳育行
- * 本日は宜しくお願い致します。 地区国際奉仕委員会 委員 長島 豊
- * 日頃から大変お世話になっております。本日RCの諸先輩方に
心より感謝申しあげます。 地区国際奉仕委員会 委員長 田島博夫

ニコニコ箱

（ニコニコ箱掲載順） 合計 32,000円

坂本雄一／鈴木純／安藤真克／相川浩一／中島高夫／佐藤賀則
鈴木元道／滝澤博史／池田敦司／春山茂之／坂田清茂／萩原達夫
塚越茂／永井保之／真下敏明／茂木聰／小林弘斎／須田礼子
矢島淳一／渋澤健司／戸矢元一／五十嵐敦子／武正進介／安藤秀樹
金井福則／政裕美子／浅香匡／高柳育行／長島豊／田島博夫



上里学園
プロジェクト委員会
五十嵐敦子 委員長

委員会報告

上里学園からの手紙発表

こんにちは、いつもお世話になっております。コロナ禍で我慢を強いられている状態ではあります。子どもたちは毎日元気に過ごしております。人形劇を予定しておりました2月7日に、本庄ロータリークラブ様からの寄付金で購入いたしました遊具で、施設内で密を避けてのイベントを実施しました。とても大喜びで、児童から高校生まで、みんなで楽しませていただきました。楽しい時間をありがとうございました。

会員数	出席免除会員	出席義務会員数	出席会員数	出席率
75	2	73	37	50.6%
		2/4MU数	2/4修正出席率	
		1	57.5%	

次回は 第2767回
2月25日(木)
萩原パスト会長卓話です。

本庄RCのHPリニューアルしました
ご覧ください。アドレスはこちら！

<https://www.honjo-rc.org>



国際ロータリー第2570地区
本庄ロータリークラブ
<http://www.honjo-rc.org>

事務局 〒367-0041 埼玉県本庄市駅南2-2-1 埼玉グランドホテル本庄700号
TEL: 0495-22-7522 FAX: 0495-22-3571 E-mail: honjorc7522@gmail.com

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 例会場 ベストパンケツ 五州園(株)

委員長 高橋 豊 副委員長 須田礼子 委員 齊藤一英／戸谷清一